

# 厚生委員会情報連絡

令和5年6月29日

情報連絡事項	頁
1 令和4年度重複服薬等指導事業の実施結果について・・・・・・・・・・	2
2 元気な職場づくり応援事業（健康経営）の支援事業所決定について・・・・・・・・	4
3 令和4年足立区自殺者数の現状及び令和5年度こころといのちの相談支援事業の 取組み方針について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4 第27回こころの健康フェスティバルの実施結果について・・・・・・・・・・	16

(衛 生 部)

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年6月29日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p><b>1 令和4年度重複服薬等指導事業の実施結果について</b></p> <p>所管課 【データヘルス推進課】</p>	<p>令和4年度重複服薬等指導事業の結果について、以下のとおり連絡する。</p> <p><b>1 概要・経緯</b></p> <p>(1) 国民健康保険の保険者には、被保険者の健康の保持増進や医療費の適正化を推進するために、各種保健事業の実施が求められており、これらの事業は国庫補助の対象となっている。</p> <p>(2) 区では、保健事業の取り組みのひとつとして、重複服薬等指導事業(※)を平成30年度から実施している。</p> <p>令和4年度は、令和3年度までの重複服薬に加え、多剤服薬や長期服用等を対象者に加えて実施した。</p> <p>※ 複数の医療機関から同じ成分の薬を投与されている重複服薬者に対して通知を発送し、医師や薬剤師への相談を促し、服薬の改善を図る事業。</p> <p><b>2 目的</b></p> <p>重複服薬や多剤服薬は、健康被害を引き起こすとともに、医療費の増大につながるため、該当者に対して通知を発送し、服薬の改善を図ることを目的とする。</p> <p><b>3 対象者</b></p> <p>令和5年3月31日時点の年齢が40歳から75歳の足立区国民健康保険被保険者のうち、以下に該当する方</p> <p>(1) 同月内で2つ以上の医療機関から、同じ成分の薬が投与されている「重複服薬者」</p> <p>(2) 同月内で2つ以上の医療機関から、併用すべきでない薬の飲み合わせが生じている「併用禁忌者」</p> <p>(3) 傷病や健診の結果から、投与すべきでない薬が投与されている「傷病名禁忌者」</p>		

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年6月29日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
	<p>(4) 保険診療で漫然投与の制限がある薬剤が長期に渡って処方されている「長期服用者」</p> <p>(5) 同時期に6剤以上の処方があり、有害事象のリスクが増大している「多剤服薬者」</p> <p><b>4 事業の内容</b></p> <p>対象者のうち、1,000人に対して、処方されている薬剤の状況やかかりつけ医師・薬剤師への相談を促す内容を記載した通知を発送し、改善状況を確認する。</p> <p>(1) 通知送付日 令和4年9月12日</p> <p>(2) 改善状況検証期間 令和4年10月から12月の3か月</p> <p>(3) 改善状況検証方法 通知した服薬状況が、検証期間を通して改善されていることを、レセプト（診療報酬明細書）で確認する。</p> <p><b>5 検証結果</b></p> <p>(1) 改善した人数 594人</p> <p>(2) 1年間の想定削減薬剤費（※） 約1億1,600万円</p> <p>※ 服薬の改善が1年間継続した場合の想定削減薬剤費。1日薬価×30日×12か月で算出している。</p> <p><b>6 今後の予定</b></p> <p>令和5年度は通知発送者を7,000人に増やして実施し、改善の効果検証を行う。</p>		

件 名	内 容	日時及 び 場所	PRの 方法																																				
<p><b>2 元気な職場 づくり応援事 業（健康経営） の支援事業所 決定について</b></p> <p>所管課 【こころとからだ の健康づくり 課】</p>	<p>「元気な職場づくり応援事業」について、令和4年度末に新たな支援事業所が決定したので、連絡する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>従業員の健康づくりに主体的に取り組む意欲のある足立区内中小事業所を区が選定し、同事業所が抱える健康課題の改善に向けて、区保健師や管理栄養士等が身体面及び精神面の支援を行う事業。</p> <p>令和元年度：1事業所でモデル事業として実施 令和2年度：4事業所を加え実施 [支援期間は令和4年度末まで]</p> <p>令和4年度末：新規5事業所を選定 [支援期間は最大で令和7年度末]</p> <p>※ 現在、累計10事業所</p> </div> <p><b>1 選定結果</b></p> <p>(1) 応募事業所数 5事業所</p> <p>(2) 選定事業所数 5事業所</p> <p>(3) 選定事業所及び担当保健センター等</p> <table border="1" data-bbox="467 1344 1219 2029"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業所名</th> <th>所在地</th> <th>事業内容</th> <th>従業員数</th> <th>担当保健センター等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>特別養護老人ホーム プレミアム扇</td> <td>扇 1丁目</td> <td>老人福祉 介護事業</td> <td>85名</td> <td>中央 本町</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>株式会社 seeDNA</td> <td>竹の塚 3丁目</td> <td>専門サー ビス業</td> <td>19名</td> <td>竹の塚</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>沼田光器 株式会社</td> <td>宮 城 1丁目</td> <td>製造業</td> <td>23名</td> <td>江北</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>無印良品 ルミネ 北千住</td> <td>千住 旭町</td> <td>小売業</td> <td>51名</td> <td>千住</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>株式会社 横引シャッ ター</td> <td>綾 瀬 6丁目</td> <td>製造業</td> <td>28名</td> <td>東部</td> </tr> </tbody> </table>	No.	事業所名	所在地	事業内容	従業員数	担当保健センター等	1	特別養護老人ホーム プレミアム扇	扇 1丁目	老人福祉 介護事業	85名	中央 本町	2	株式会社 seeDNA	竹の塚 3丁目	専門サー ビス業	19名	竹の塚	3	沼田光器 株式会社	宮 城 1丁目	製造業	23名	江北	4	無印良品 ルミネ 北千住	千住 旭町	小売業	51名	千住	5	株式会社 横引シャッ ター	綾 瀬 6丁目	製造業	28名	東部		
No.	事業所名	所在地	事業内容	従業員数	担当保健センター等																																		
1	特別養護老人ホーム プレミアム扇	扇 1丁目	老人福祉 介護事業	85名	中央 本町																																		
2	株式会社 seeDNA	竹の塚 3丁目	専門サー ビス業	19名	竹の塚																																		
3	沼田光器 株式会社	宮 城 1丁目	製造業	23名	江北																																		
4	無印良品 ルミネ 北千住	千住 旭町	小売業	51名	千住																																		
5	株式会社 横引シャッ ター	綾 瀬 6丁目	製造業	28名	東部																																		

件 名	内 容	日時及 び 場所	PRの 方法
	<p>(4) 選定内容</p> <p>ア 書類審査日 令和5年3月27日(月)</p> <p>イ 選定委員 区職員7名</p> <p>ウ 審査項目 (ア) 健康経営の実現可能性が高いか。 (イ) 協働及び協創の取組みが期待できるか。 (ウ) 事業実施後、区内他事業所への波及効果が期待できるか。</p> <p>エ 主な意見 (ア) あだちベジタベライフ事業に協力している事業者もあり、協働及び協創の取組みが期待できる。 (イ) ホームページやSNS等で積極的に情報発信している事業者もあり、区内他事業所への波及効果が期待できる。</p> <p><b>2 支援期間</b> 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで ※ 2回まで支援延長可能(最大で令和7年度まで支援可能)</p> <p><b>3 「元気な職場づくり応援事業」選定認定証交付式及び情報交換会</b></p> <p>(1) 実施日 6月末または7月上旬で調整予定</p> <p>(2) 内容 ア 今回新たに選定された5事業所への認定証の交付 イ 新規支援事業所と支援満了事業所との情報交換会</p>		

件 名	内 容	日時及 び 場所	PRの 方法
	<p><b>4 今後の予定及び方針</b></p> <p>(1) 新規支援5事業所 担当の各保健センター等が事業所と協議しながら、健康課題の改善に向けて従業員の身体面・精神面の支援を行っていく。</p> <p>(2) 支援満了5事業所 各事業所が従業員の健康づくりを継続して実施できるよう、学術機関などの助言を得ながら担当であった保健センター等がフォローを行っていく。</p> <p>(3) 成功事例の周知 区内中小事業所が新たに健康経営に取り組めるよう、支援満了事業所の好事例を区ホームページ等で紹介し、周知していく。</p>		

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年6月29日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p><b>3 令和4年足立区自殺者数の現状及び令和5年度ころといのちの相談支援事業の取組み方針について</b></p> <p>所管課 【ころとからだの健康づくり課】</p>	<p>令和4年足立区自殺者数及び令和5年度ころといのちの相談支援事業の主な取組み方針について連絡する。</p> <p>なお、1(1)～(3)は<u>人口動態統計※1</u>の暫定値、1(4)・(5)は<u>警察庁自殺統計※2</u>の値を参考としている。</p> <p>※1 厚生労働省が作成。自殺者の住所地、日本人のみの自殺者数で集計している</p> <p>※2 警察庁が作成。自殺者の発見地、外国人を含んだ自殺者数で集計している</p> <p><b>1 令和4年足立区自殺者数の現状</b> 【別紙1参照】</p> <p>(1) 足立区自殺者数 (人口動態統計・R4年は暫定値) 自殺者数：総数 123人 &lt;前年 114人&gt;           男性 80人 &lt;前年 73人&gt;           女性 43人 &lt;前年 41人&gt;</p> <p>※ 自殺者が急増した平成10年からの区 の減少率は36.3%減(R3年比で都： 22.1%減、国：36.1%減)。</p> <p>(2) 男女別自殺者数 (人口動態統計・R4年は暫定値) 男性・女性ともに増加している。</p> <p>(3) 年齢別自殺者 (人口動態統計・R4年は暫定値) 男性：10代、30代、50代、60代、80歳 以上が増加。 女性：60代以上が増加。</p> <p>(4) 原因・動機別自殺者数(警察庁自殺統計) 男性：「健康問題」「経済・生活問題」の順 に多い。 女性：「健康問題」が最も多い。</p> <p>※ 男女ともに原因不詳は除く</p>		

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年6月29日

## (5) 職業別自殺者数（警察庁自殺統計）

男性：「有職者」が最多であるが、「年金・雇用保険等生活者」「失業者」の数が増加。

女性：「年金・雇用保険等生活者」「主婦」「有職者」の数が増加。

## 2 令和4年度の主な取り組み結果

### (1) 当事者に対する支援

#### ア インターネット・ゲートキーパー事業

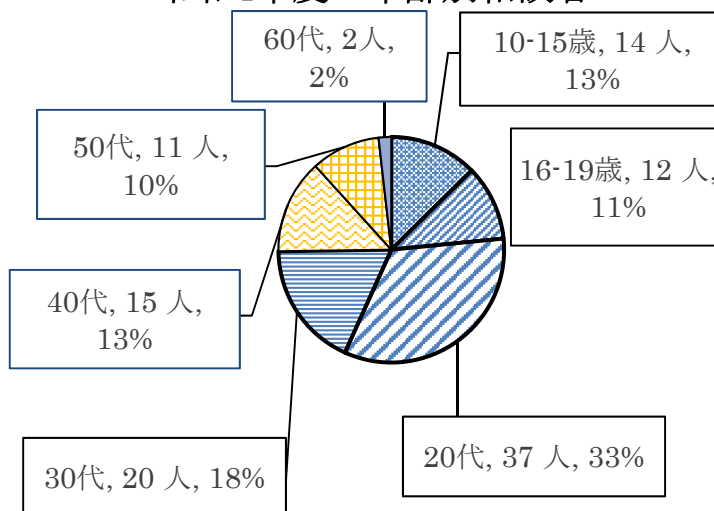
区内において自殺関連語句をネット検索した者に対し、検索連動広告を表示しメール相談へつなぐ。

広告表示回数：76,831回  
 <前年度 93,622回>

広告クリック数：5,631回  
 <前年度 5,635回>

新規相談者数：111人  
 <前年度 115人>

令和4年度 年齢別相談者



### (2) 人材育成

#### ア ゲートキーパー研修

自殺のサインに気づき、適切な相談機関へつなげるゲートキーパー（いのちの門番）を育成する。



# 厚生委員会情報連絡一覧表

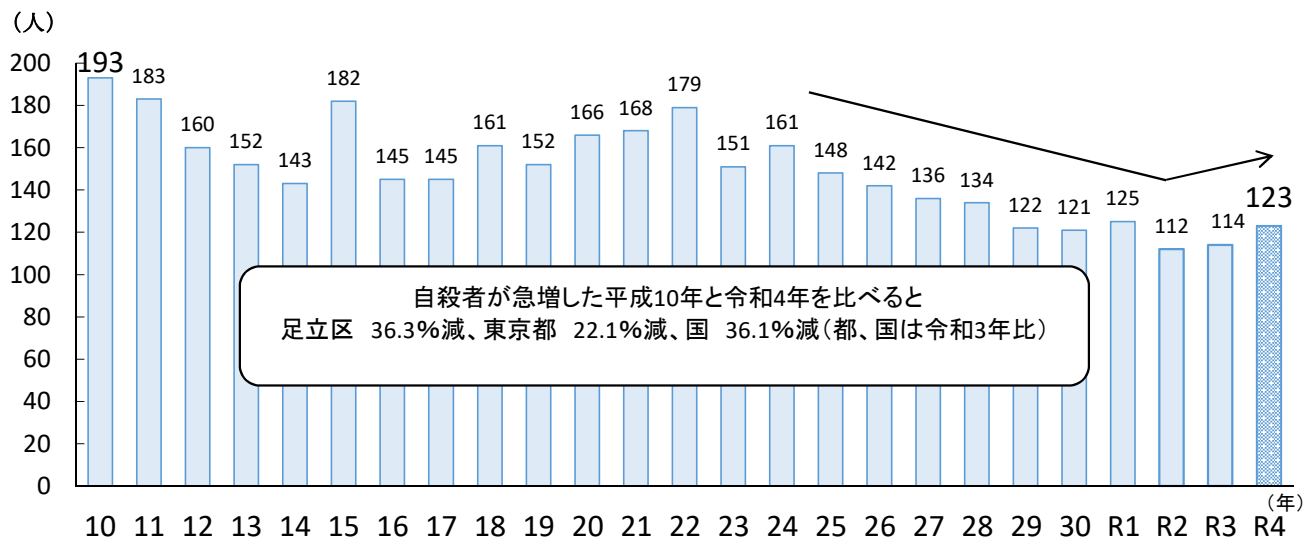
令和5年6月29日

	<p>研修受講者数</p> <p>(ア) 初級研修 215人          &lt;前年度 163人&gt;</p> <p>(イ) 中級研修 168人          &lt;前年度 63人&gt;</p> <p>(ウ) 上級研修 64人          &lt;前年度 58人&gt;</p> <div data-bbox="467 555 1157 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>初級研修延べ受講者数 12,600人</p> </div> <p>(3) ネットワークの強化</p> <p>ア こころといのちの相談支援ネットワーク          会議の開催          23機関が参加した。          主な参加機関：医師会、薬剤師会、医療          機関、ハローワーク、法          律事務所、警察、消防、          支援団体</p> <p>イ つなぐシート【別紙2参照】</p> <div data-bbox="539 1368 1201 1556" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相談内容を記録したシートを、リレー形          式で他機関へ受け渡す。支援の引継ぎを正          確かつ効率的に行うことができ、相談者の          説明の負担を軽減させる。</p> </div> <p>つないだ件数：594件&lt;前年度 524件&gt;</p> <p><b>3 令和5年度の主な取組み方針</b></p> <p>生活の困難など複数の悩みを抱える方の増加          による自殺リスクの高まりにより、重点対象を          以下に定めて、引き続き支援事業を実施してい          く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生きにくさを抱えた若年者</li> <li>② 孤立しやすい高齢者</li> <li>③ 家族を支える女性</li> </ol>		
--	---	--	--

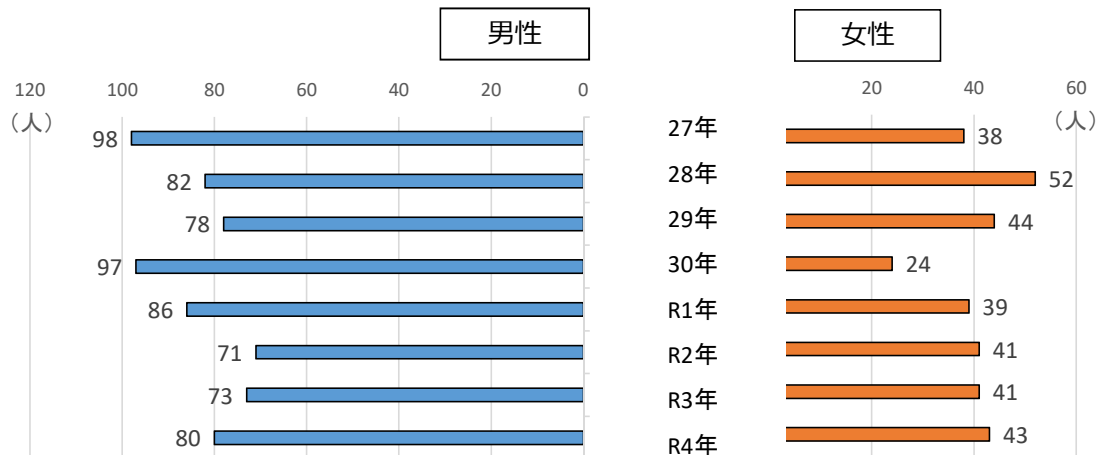
# 【 足立区自殺者の現状 】

別紙1

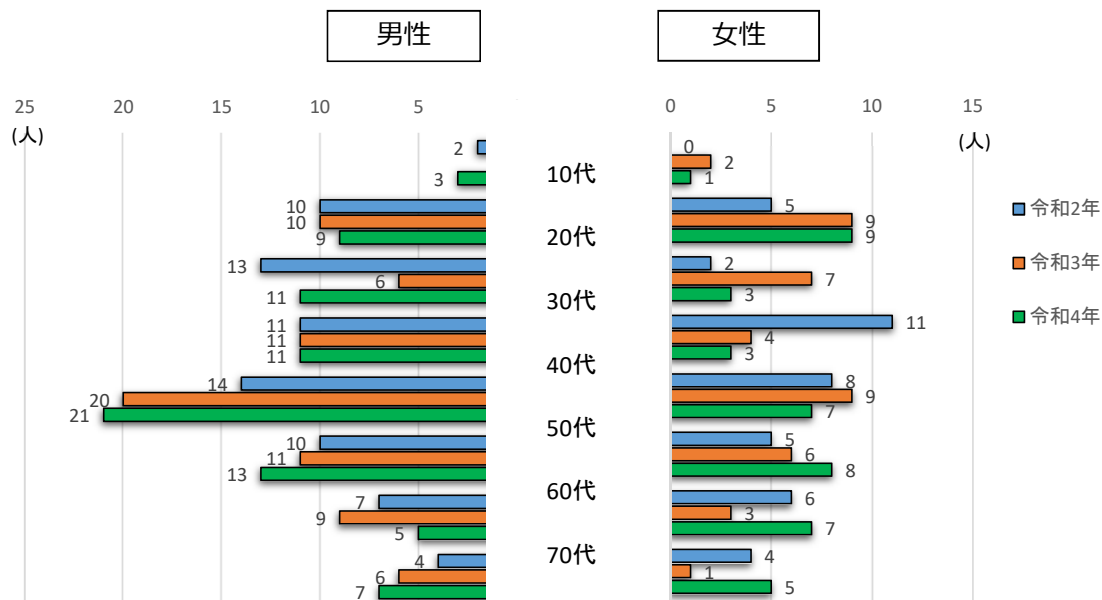
①足立区自殺者数の推移【H10-R4】（人口動態統計・R4年は暫定値）



②足立区男女別自殺者の推移【H27-R4】（人口動態統計・R4年は暫定値）

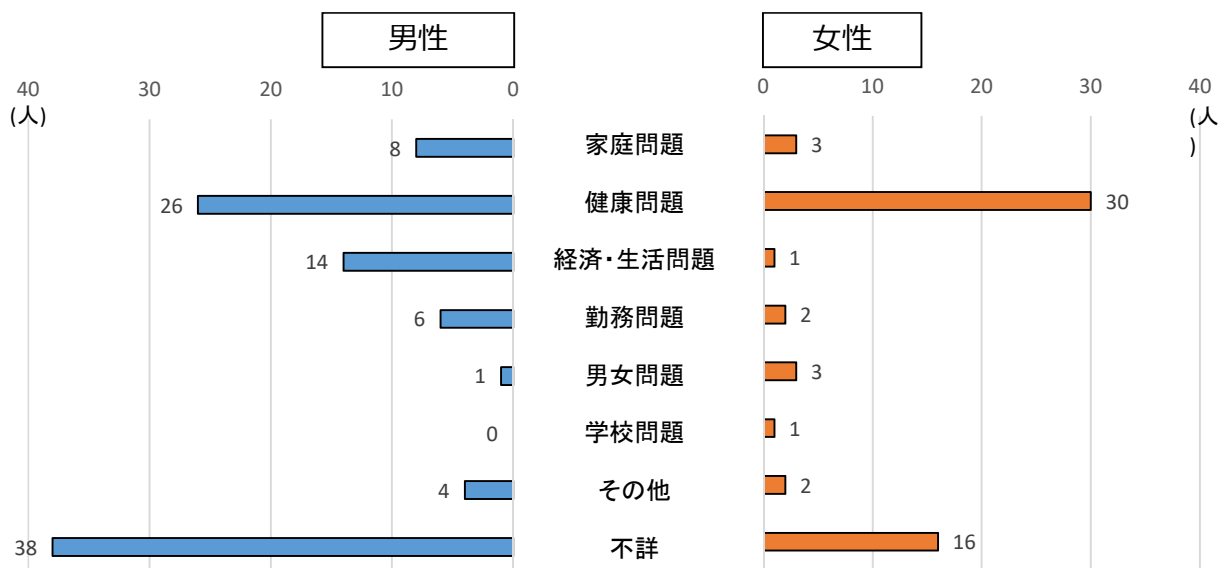


③足立区年齢別自殺者の推移【R2-R4】（人口動態統計・R4年は暫定値）



④足立区原因・動機別自殺者数【R4】（警察庁自殺統計）

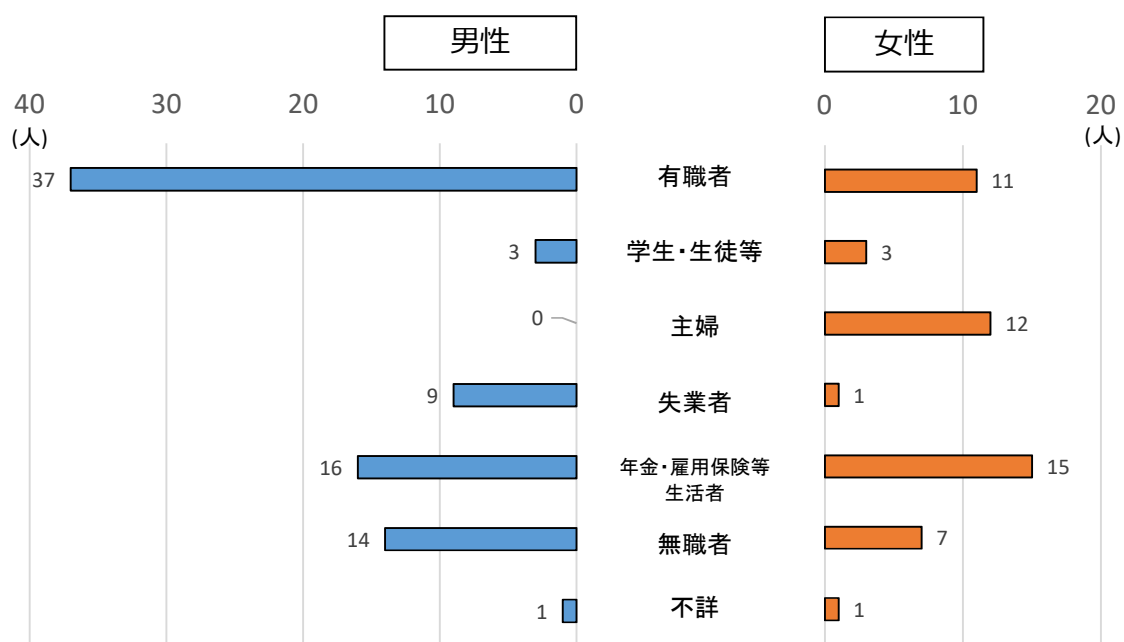
令和3年までは、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機について、自殺者1人につき3つまで計上可能としていた。しかしながら、令和4年1月からは、家族の証言等から自殺の原因・動機と考えられるものについて、自殺者1人につき4つまで計上可能とした。このため令和3年以前のデータと比較することができない。



※ R3までは1人3つまで計上、R4からは1人4つまで計上

⑤足立区職業別自殺者数の男女比較【R4】（警察庁自殺統計）

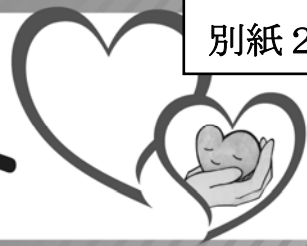
令和3年までは、自営業と被雇用者に分かれていたが、令和4年より有職者に統合されたため、令和3年以前のデータと比較することができない。



～あなたの悩みを安心へ～

別紙2

# 「つなぐ」シート



## 相談申込・受付票

ID		※初回 相談受付日	令和 年 月 日	受付者	
----	--	--------------	----------	-----	--

### ■基本情報 ※太枠欄は必ずご記入ください。

相談支援の検討・実施等にあたり、私の相談内容を必要となる関係機関(者)と情報共有し、保管・集約することに同意します。

署名欄					
ふりがな			性別	□男性 □女性 □その他	
氏名			生年月日	□大正 □昭和 □平成 年 月 日 ( 歳)	
住所	〒 -				
電話	自宅			携帯	
来談者 注)ご本人 以外の場合 に記入してく ださい。	氏名			ご本人と の関係	□家族(本人との続柄: ) □その他( )
	住所				
	電話 (自宅)			電話 (携帯)	

### ■ご相談の内容(お困りのこと)

※ご相談されたい内容に○をおつけください。ご相談されたいことが複数の場合は、全て○をし、一番お困りのことには◎をおつけください。

仕事探し、就職について	収入・生活費のこと	仕事上の不安やトラブル
家賃やローンの支払いのこと	税金や公共料金等の支払いについて	債務について
資金の貸付について	住まいについて	病気や健康に関すること
こころの問題に関すること	食べるものがない	家計全般に関すること
介護に関すること	子育てに関すること	ひきこもり・不登校
家族関係・人間関係	地域との関係について	DV・虐待について
その他( )		

※ご相談されたいことを具体的に書いてください。ご支援にあたっての希望もあればお書きください。

--

(初回相談受付部署)

相談内容・概要	相談受付日 月 日 ( ) 部署名	担当者
	※初回部署は記入不要	
	相談済の部署 <input type="checkbox"/> 仕事 ( ) <input type="checkbox"/> 多重債務 ( ) <input type="checkbox"/> 健康・生活 ( ) <input type="checkbox"/> 介護 ( ) <input type="checkbox"/> 子育て ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )	
<今回の対応>		
当課の継続相談 有・無		



※他の部署への相談が必要な場合のみ次頁へ

相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( )	<input type="checkbox"/> 多重債務 ( )	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ( )
	<input type="checkbox"/> 介護 ( )	<input type="checkbox"/> 子育て ( )	<input type="checkbox"/> その他 ( )



紹介先①	予約日時			同行 有・無
		課	係 担当者	館 階
	名称	担当者		
	住所	電話番号		

相談内容概要	相談受付日 月 日 ( )	部署名	担当者	
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( )	<input type="checkbox"/> 多重債務 ( )	<input type="checkbox"/> 生活 ( )
		<input type="checkbox"/> 介護 ( )	<input type="checkbox"/> 子育て ( )	<input type="checkbox"/> その他 ( )
	<今回の対応>			
	当課の継続相談 有・無			

(くらしとしごとの相談センター回付日 年 月 日)



相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( )	<input type="checkbox"/> 多重債務 ( )	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ( )
	<input type="checkbox"/> 介護 ( )	<input type="checkbox"/> 子育て ( )	<input type="checkbox"/> その他 ( )



紹介先②	予約日時			同行 有・無
		課	係 担当者	館 階
	名称	担当者		
	住所	電話番号		

相談内容概要	相談受付日 月 日 ( )	部署名	担当者	
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( )	<input type="checkbox"/> 多重債務 ( )	<input type="checkbox"/> 生活 ( )
		<input type="checkbox"/> 介護 ( )	<input type="checkbox"/> 子育て ( )	<input type="checkbox"/> その他 ( )
	<今回の対応>			
	当課の継続相談 有・無			

(くらしとしごとの相談センター回付日 年 月 日)

相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( )	<input type="checkbox"/> 多重債務 ( )	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ( )
	<input type="checkbox"/> 介護 ( )	<input type="checkbox"/> 子育て ( )	<input type="checkbox"/> その他 ( )



紹介先 ③	予約日時		同行 有・無
	課	係 担当者	館 階
	名称	担当者	
	住所	電話番号	

相談内容概要	相談受付日 月 日 ( ) 部署名	担当者
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( ) <input type="checkbox"/> 多重債務 ( ) <input type="checkbox"/> 生活 ( )
		<input type="checkbox"/> 介護 ( ) <input type="checkbox"/> 子育て ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<今回の対応>	
	当課の継続相談 有・無	

(くらしとしごとの相談センター回付日 年 月 日)



相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( )	<input type="checkbox"/> 多重債務 ( )	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ( )
	<input type="checkbox"/> 介護 ( )	<input type="checkbox"/> 子育て ( )	<input type="checkbox"/> その他 ( )



紹介先 ④	予約日時		同行 有・無
	課	係 担当者	館 階
	名称	担当者	
	住所	電話番号	

相談内容概要	相談受付日 月 日 ( ) 部署名	担当者
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ( ) <input type="checkbox"/> 多重債務 ( ) <input type="checkbox"/> 健康・生活 ( )
		<input type="checkbox"/> 介護 ( ) <input type="checkbox"/> 子育て ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<今回の対応>	
	当課の継続相談 有・無	

(くらしとしごとの相談センター回付日 年 月 日)

# 厚生委員会情報連絡一覧表

令和5年6月29日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p><b>4 第27回こころの健康フェスティバルの実施結果について</b></p> <p>所管課 【中央本町地域・保健総合支援課】</p>	<p>足立区では平成8年度より区民のこころの健康の保持増進と精神障がい者の社会参加の促進を図るため「こころの健康フェスティバル」を実施している。令和4年度は新型コロナウイルス感染予防対策のためWEB配信で以下のとおり実施したので報告する。</p> <p><b>1 配信期間</b> 令和5年3月4日（土）午前0時00分 ～3月24日（金）午後11時59分</p> <p><b>2 視聴回数</b> 合計1,660回（第26回：379回）</p> <p><b>3 動画内容</b>（合計約80分） （1）実行委員長挨拶 （2）区長挨拶 （3）講演 「コロナ禍の心と体の不調ののりこえ方」 東京女子医科大学附属足立医療センター 心療・精神科 部長 大坪 天平 教授 （4）参加団体活動紹介スライド</p> <p><b>4 参加団体</b> 精神障がい者家族会、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、医療機関、グループホーム、地域活動支援センター、足立区社会福祉協議会、足立区民生・児童委員協議会、足立区町会・自治会連合会、東京人権擁護委員協議会（足立地区人権擁護委員会）等 計35団体</p> <p><b>5 視聴者の感想</b> （1）オンライン形式（YouTube）は、若い世代や平日・日中働いている方にとって視聴しやすいと思う。 LINEで配信案内通知が来たのは良かった。 （2）講演の内容が、コロナ禍によっておちいりやすい抑うつ症状だけでなく、生活の変化による不眠が引き起こす身体疾患に至る経緯までわかりやすく説明され、とても参考になった。</p>		



件名	内容	日時及び場所	PRの方法
	(3) 講演は身近なことを題材に説明され、例示をたくさん用いた説明でわかりやすかった。自分に合うストレスコーピングなど実践できるものを行なっていきたい。		